



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月27日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上石 芳昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-5408-3351
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 2020年2月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	3,672	11.9	342	14.4	372	14.2	250	1.1
2019年5月期第2四半期	3,283	9.9	299	△6.5	326	△4.7	247	46.4

（注）包括利益 2020年5月期第2四半期 502百万円（41.4％） 2019年5月期第2四半期 355百万円（84.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	25.51	—
2019年5月期第2四半期	25.29	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	10,527	9,155	87.0
2019年5月期	10,628	8,822	83.0

（参考）自己資本 2020年5月期第2四半期 9,155百万円 2019年5月期 8,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2020年5月期	—	13.00			
2020年5月期（予想）			—	13.00	26.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,620	5.6	635	3.2	685	3.0	470	△6.2	48.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	10,645,020株	2019年5月期	10,645,020株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	988,048株	2019年5月期	805,287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	9,805,166株	2019年5月期2Q	9,780,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、米国通商政策の動向や中国経済の減速、中東の地政学的リスクなどにより海外経済は不透明な状況が続いており、企業経営にはより慎重さが求められています。

情報サービス産業におきましては、IoT、AI（人工知能）、ビッグデータなどの急速な進化に伴い、自動運転をはじめ様々な分野でのICT（情報通信技術）の活用が進む一方、サイバー攻撃などへの防御としてセキュリティ技術の高度化も求められています。

こうした環境の中、当社は「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする新たな中期経営計画（2018年6月～2021年5月）を策定し、獲得事業の主力化と新分野の開拓、持続的成長への投資、トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスの継続を基本方針としております。

具体的には、獲得事業の主力化と新分野の開拓としては、前中期経営計画期間中に大きく拡大した自動運転/先進運転支援関連を主力事業化した一方、建設機械や医療関連のIoT分野については継続して拡大を図っております。また、AI、ネットワーク、セキュリティ、クラウドなど更なる新分野の開拓にも積極的に取り組んでおります。持続的成長への投資としては、人材への投資、働きやすい環境や生産設備への投資などを計画的に実施しております。トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスの継続としては、ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで、顧客に最大のメリットを提供するという取組みを、顧客を巻き込んだ長期的な取組みとして継続しております。一方、2019年9月30日開催の当社取締役会において、株主の皆様への一層の利益還元と機動的な資本政策の遂行を目的として自己株式を取得することを決議し、2019年11月22日までに取得上限株式数である200千株の買付を実施いたしました。

経営成績につきましては、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,672百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は342百万円（前年同期比14.4%増）、経常利益は372百万円（前年同期比14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は250百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは開発量が減少したものの、プラント制御は堅調に推移しました。東京圏輸送管理システムと在来線の運行管理システムで開発量が増加し、新幹線の運行管理システムは横ばいで推移しました。

この結果、売上高は551百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は125百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は旺盛な需要が継続し、車載ネットワーク制御や基盤ソフトウェアなどが好調に推移しました。また、電動化案件と変速機制御は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は969百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は241百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、危機管理関連は開発量が増加したことに加え、前年は検収が下期に集中していたことから、売上、利益とも前年を上回りました。また、自動運転/先進運転支援関連は画像認識/識別案件は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は317百万円（前年同期比42.8%増）、セグメント利益は60百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発と新ストレージ開発が堅調に推移しました。IoT建設機械関連は、オペレーティングシステム周辺の開発に参画するなど体制を拡大しました。自動運転/先進運転支援関連のベーシックソフトウェア開発は、新たな案件を受注するなど堅調に推移しました。

この結果、売上高は512百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は124百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、鉄道保守/設備管理関連と駅務機器の開発や、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスが好調に推移しました。デジタルカメラ関連やフォトイメージング関連などで体制を拡大し、航空宇宙関連は横ばいで推移しました。また、注力分野としているロボティクス関連は開発規模が拡大し、AI関連とIoT関連は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は915百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益は196百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、構築業務はパブリッククラウド案件の受注に注力し、保守・運用よりリソースをシフトしたことで堅調に推移した一方、保守・運用は売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は407百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は67百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、101百万円減少して、10,527百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び納税に伴い現金及び預金が減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて434百万円減少して、1,371百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び納税が行われた結果、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて333百万円増加して、9,155百万円となりました。この主な要因は、配当及び自己株式の取得により純資産の減少があったものの、それ以上に四半期純利益及び投資有価証券の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、87.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて293百万円減少して、1,302百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、498百万円（前年同期は652百万円の使用）となりました。主な要因は、賞与及び法人税等の支払いによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、409百万円（前年同期は136百万円の獲得）となりました。主な要因は、定期預金の払戻及び有価証券の償還によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、300百万円（前年同期は241百万円の使用）となりました。主な要因は、自己株式の取得及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年7月5日公表の2020年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,296,634	1,778,339
受取手形及び売掛金	1,874,194	1,894,184
電子記録債権	828,710	955,775
有価証券	500,857	600,947
仕掛品	212,904	357,591
その他	70,903	124,663
流動資産合計	5,784,205	5,711,502
固定資産		
有形固定資産	231,579	237,346
無形固定資産	21,324	36,479
投資その他の資産		
投資有価証券	4,068,252	4,144,754
その他	523,503	397,469
投資その他の資産合計	4,591,755	4,542,224
固定資産合計	4,844,660	4,816,050
資産合計	10,628,865	10,527,552
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,192	109,283
未払法人税等	164,177	38,781
賞与引当金	978,060	637,059
その他の引当金	42,796	29,246
その他	336,724	354,693
流動負債合計	1,650,950	1,169,065
固定負債		
長期末払金	87,319	81,312
引当金	24,961	26,980
退職給付に係る負債	43,104	45,434
その他	166	48,787
固定負債合計	155,550	202,514
負債合計	1,806,501	1,371,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,244,804	2,247,802
利益剰余金	5,095,223	5,336,003
自己株式	△436,024	△598,220
株主資本合計	8,391,414	8,472,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,950	693,709
為替換算調整勘定	—	△10,731
その他の包括利益累計額合計	430,950	682,978
純資産合計	8,822,364	9,155,973
負債純資産合計	10,628,865	10,527,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	3,283,369	3,672,925
売上原価	2,556,581	2,860,008
売上総利益	726,787	812,917
販売費及び一般管理費	427,406	470,290
営業利益	299,381	342,626
営業外収益		
受取利息	8,811	9,197
受取配当金	7,463	10,266
受取保険金	10,000	—
保険解約返戻金	1,527	5,400
為替差益	—	7,028
その他	1,677	1,906
営業外収益合計	29,480	33,800
営業外費用		
支払手数料	537	802
寄付金	1,000	1,000
障害者雇用納付金	500	1,500
その他	644	616
営業外費用合計	2,681	3,918
経常利益	326,179	372,507
特別利益		
負ののれん発生益	30,602	—
特別利益合計	30,602	—
特別損失		
固定資産除却損	87	3,392
特別損失合計	87	3,392
税金等調整前四半期純利益	356,694	369,115
法人税、住民税及び事業税	5,681	12,665
法人税等調整額	102,002	106,290
法人税等合計	107,684	118,956
四半期純利益	249,010	250,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,635	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,374	250,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	249,010	250,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,156	262,759
為替換算調整勘定	—	△10,731
その他の包括利益合計	106,156	252,028
四半期包括利益	355,166	502,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,530	502,187
非支配株主に係る四半期包括利益	1,635	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	356,694	369,115
減価償却費及びその他の償却費	19,391	21,952
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	87	3,392
負ののれん発生益	△30,602	—
受取利息及び受取配当金	△16,274	△19,464
引当金の増減額(△は減少)	△385,384	△369,145
売上債権の増減額(△は増加)	△279,752	△134,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△170,531	△156,420
仕入債務の増減額(△は減少)	19,515	8,163
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△16,308	△91,826
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△82,797	△32,109
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△30,205	13,522
その他の固定負債の増減額(△は減少)	87,319	△6,007
その他	△12,192	△3,974
小計	△541,040	△397,160
利息及び配当金の受取額	18,890	22,500
その他の収入	15,074	14,053
その他の支出	△66	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△144,915	△138,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△652,058	△498,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,202,500	△479,400
定期預金の払戻による収入	1,400,000	729,007
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△37,622	△18,195
無形固定資産の取得による支出	△2,267	△20,253
投資有価証券の取得による支出	△300,964	—
資産除去債務の履行による支出	△12,102	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	191,866	—
その他	△210	△1,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,198	409,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△128,766	△173,038
配当金の支払額	△97,905	△127,020
社債の償還による支出	△15,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,671	△300,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△8,189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△757,531	△397,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,788,153	1,596,634
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	103,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,622	1,302,689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月30日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において、自己株式200,000株を取得し、自己株式が172,236千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式は△598,220千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました国際プロセス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併（合併期日：2019年6月1日）により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、非連結子会社でありました大連艾普迪科技有限公司は、当社グループでの重要性が高まることを見込まれるため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間（自 2018年6月1日 至 2018年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	542,898	850,383	222,105	472,417	756,434	439,130	3,283,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	542,898	850,383	222,105	472,417	756,434	439,130	3,283,369
セグメント利益	133,552	185,132	47,501	116,383	179,464	78,604	740,637

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,283,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,283,369
セグメント利益	△441,256	299,381

(注) 1. セグメント利益の調整額△441,256千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△427,314千円及びその他△13,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	551,263	969,356	317,232	512,438	915,317	407,316	3,672,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	551,263	969,356	317,232	512,438	915,317	407,316	3,672,925
セグメント利益	125,170	241,531	60,944	124,170	196,914	67,904	816,636

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,672,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,672,925
セグメント利益	△474,010	342,626

(注) 1. セグメント利益の調整額△474,010千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△470,290千円及びその他△3,719千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。